

各種連絡。報告

救急法講習会開催報告

平成15年度救急法講習会ベンチャー部門が6月8日に、指導者部門が6月14日・15日の2日間で開催され、例年と同様に東京消防庁の普通救命コースをカリキュラムに組み込んで開催されました。ベンチャー部門からは15名の受講者に対して指導者部門では7名のみの受講でした。指導者のスカウト活動に対する安全意識の低さが気になる講習会でした。

高尾山より助成金

6月18日に高尾山慶讃会の総会がエルシーハ八王子で開催され、ボイスカウト八王子地区へ高尾山より20万円の助成金を頂きました。

隊活動と競

スカウト活動の中で、躰を身につけさせ
る部分がどれくらい必要であるのか、考え
させられる部分が多くあります。一体スカ
ウティングとはなんでしょうか？。少なくとも、
この運動に参加されている方々は、
百もご承知のことと思いますが、もう一度
「スカウティングとは何か？」を考えて見
る必要があるのではないかでしょうか。この
運動はどういうものなのか？一言でいえば、
この運動に自発的に参加をする青少年のため
の運動であり、人種、信仰などの区別なく、
すべてに開放された非政治的な余暇善
用の手段を通じての教育と人間形成の累進
的なプログラムであるといえます。目的の
なかで言われているように、自発的活動、
健康、社会に奉仕ぞざる能力、人生に役立
つ技能、かつ、誠実、勇気、自信、国際愛、
人道主義、これらが把握でき、実践できる
ように教育することなんです。こうなりま
すと、スカウト活動の中で、随分と躰につ
いて考えなければならないと思えてなりま
せん。この運動は、社会教育と学校教育、
に石川県珠洲市「リフレッシュ 鉢ヶ崎」で
開催される。八王子地区からは派遣隊として
リーダー6名スカウト9名VS奉仕1名保護
者1名の計17名で参加する。
「アグーナリーとは？」全国にあるボーイズ
カウトには障害を持っているスカウトが様々
なところで活動しています。そこで日本ジャ
ンボリーのように4年に1回、障害のあるス
カウトが集まりキャンプ生活やプログラムを
通して、相互の触れ合いと共に体験の中から、
自信と勇気に満ちた生活態度を自ら獲得する
ように励ますとともに、これらの青少年が進
んで明るい希望を持って、積極的に社会生活
の溶け込めるようにすることを目的にしてい
ます。AGOONOREEとはギリシャ語の”AGOON”
(集会・競技会の意)から来た言葉で、ボー
イスカウト用語としては、1カ国あるいは数
カ国のおもに障害スカウトが集まって開く行事を表
すそうです。
なお、7月26日(土)の地区協議会で壮行会が
行われます。

編集後記

各団の夏季行事を次回広報誌に掲載予定です。掲載希望の団・隊はスナップ写真と活動のレポートを広報委員会までお寄せ下さい。他にも情報として掲載希望があればご連絡ください。

地区広報e-mail:kouhou@scout802.jp

地区ホームページアドレ

<http://www.scout802.jp/>

平成15年7月22日発行

スカウティング



日々の善行よに
そつなえね

はちおうじ

カブナリ

「千と千尋の湯山でかつ隠し」

今年のカブラーは5月11日（日）9時より滝山キャンプ場で行われた。参加者はスカウト116名、リーダー52名、23組でゲームが行われた。今回のラリーでは、宮崎アニメの『千と千尋の神隠し』をモチーフにし、『千と千尋の滝山でカブ隠し』と題して、約120名のスカウトが滝山キャンプ場に集まりました。トンネルを抜けるとそこは神の国、果たしてスカウト達は神の国で仕事を見つけ、困難を乗り越え、ブタに変えられた両親を見つけ、元の世界へ戻ることが出来るのか？映画での千尋の冒険に見立てた『おクサレ様体洗い』『スス運び』や『契約印探し』など、盛りだくさんな内容になったと思います。途中でちょこちょこと現れたカオナシや最後のブタキムスに顔をしかめていたスカウトもいたようですが、雨に降られることもなく、無事子供たちの思い出作りに貢献できたのではないかと感じました。

実行委員長 15団カブ隊長 阿部徹也



初の試み連合育成会主催 映画鑑賞会実施される

連合育成会主催の映画鑑賞会は5月17日10時より八王子市民会館で「親子ふれあい映画会」が行われた。タイトルは「走れケッタマン」。来場者は約300名で配布された観賞券の割には少ない来場者数であった。奉仕者はボーイスカウトより19名。尚、映画の内容はビーバー年齢では多少難しかったとの意見もあるが、参加された方の中には『親子の触れ合いが出来て良かった』との意見もあったようである。開催時期や内容、連絡方法など今後の課題が残る結果となったが、次の展開が期待される。



ボーイ隊オリエンテーリング

B S部門地区行事、「狙え！ターゲットバッジ」のテーマでオリエンテーリングが5月18日、滝山キャンプ場で開催された。心配された天候も薄曇で歩き回るにはまづまづな状況。今回はキャンプ場から西方面に向かって扇状にコースが設定され、滝山自然公園・武蔵野ゴルフ場を最遠地点としてそれぞれ得点がちがうポストが24ヶ所、配置された。全部回ると18キロ、4時間ぐらいのコースだが、ルールは3時間以内にゴールしなければならず、しかも遅れると30秒毎にマイナス1点の減点があるというシビアなものなので、所定の時間内に高得点が獲得できるポストを効率よく回る為の作戦を練ることも重要な課題だ。競技は二人一組で、午前10時に第一組がスタートした。受付順で次々とスタートし、最後の組が10時20分ぐらいとなった。事前に読図の訓練して競技に参加させようというのが各隊の申し合わせであったのでその成果が問われるところであるが、各組の実力はまちまちで15ヶ所以上のポストを探すことが出来た組、2ヶ所しかさがせなかつた組もあった。ゴールは大半が3時間以内で、一番遅い組でも30分遅れぐらいで予想より早い進行が出来た。上位入賞の賞品は豪華で、1位がコールマンのランタン、2位がガスのツーバーナーのコンロ。賞品を獲得したスカウトは大喜びだったが、二人で分けられないことに気がつき、一時混乱したが、最後は班の備品に寄付ということで決着、該当の隊長は大喜びの結果となった。しかしこの競技へ参加したスカウトは「オリエンテーリングのターゲットバッジ」獲得は目前と思われる所以、それで納得と願いたいものだ。84名の参加であったが、なにはともあれ、無事に終えることが出来、各隊のスタッフの方々に感謝いたします。

指導者講習会開設される

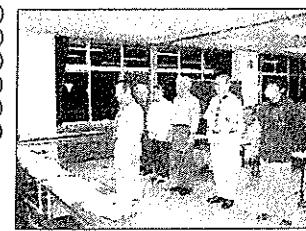
第243回指導者講習会は5月18日(日)9:00~17:00 八王子市館市民集会所で開催された。主任講師は尾崎清一氏(日本連盟副リーダートレーナー)、他講師5名、開設業務担当が2名で、修了者は21名であった。(1團:2名 2團:3名 3團:2名 5團:4名 7團:2名 8團:1名 10團:2名 11團:2名 12團:2名 15團:1名) 尾崎主任講師談「5月に入り、初夏を思わせるような気候が続いていましたが、講習会当日は一転、とても肌寒い一日でした。しかし、そんな寒さも参加者の方々の熱意にはかなはず、活気のある講習会だったようを感じました。スカウト数の減少が危惧される中、この運動をサポートする一人でも多くの成人指導者の養成は急務であると思います。これからも、各団各位のご協力をよろしくお願い致します」



地区総会開催される

平成15年度の八王子地区定期総会は4月25日(金)19時30分より大和田市民センターにおいて、出席者約35名のもとで開催された。平成14年度の活動報告、決算報告、平成15年度の地区役員の承認、行事計画及び予算の説明があり、承認された。今年度のテーマは「Out of Scouting」である。スカウト減少傾向は昨年より減ったものの、いぜん続いているPT21を引き続き推進していくことが確認された。また、議事に先立ち地区表彰が行われた。次の6名の方が地区有功章を贈呈されました。

新垣茂樹 (2回)
鈴木与徳 (5回)
鈴紘太郎 (5回)
渋谷啓己 (5回)
加賀久毅 (15回)
福島 実 (15回)
おめでとう
ございます



菊スカウトの面接

菊スカウトの面接が6月29日 元八事務所で行われた。

八王子第10団の馬場貴之君 元八王子中学3年生・同じく山本耕平君 元八王子中学3年生。面接官は、鈴木B S担当副コミ・佐藤地区コミ・岡本進歩委員長・阿妻担当副コミの4人

セレモニーの後、自己紹介・山崎10団B S隊長の推薦の弁・面接官の質問となつた。

二人とも 終始緊張した表情で、時折答えに詰まるところがあったが、はきはきと好感が持てる受け答えであった。V Sへの上進、社会人となつたときに世の中に貢献出来るような人物になりたいと決意を述べた。有望な菊スカウト誕生に弥栄を送る。

伝達は7月26日 地区協議会の席上の予定。

かっここう章3名表彰される

ボーイスカウト日本連盟の平成15年度全国会議が5月17日群馬県前橋市にある群馬県民会館で開催され、八王子地区からは、上村地区委員長・佐藤地区コミッショナー・岩田健康安全委員長の3名が、佐波正一日本連盟理事長よりかっここう章の表彰を受けました。長年にわたるスカウト活動へのご奉仕を感謝いたします。



「夕やけ小やけふれあいの里」ふるさとづくり

「Yukoyake-Koyake」「Furusato」Interaction 2003/05/25
対象：八王子・オイスカ、東京商工会議所、オイスカ東京議員連合会
会場：八王子「夕やけふるさとづくり」実行委員会

八王子「環境とふるさとづくり」実行委員会主催の「夕やけ小やけふれあいの里」ふるさとづくりのフェスティバルが5月24・25日「夕やけ小焼け文化農園」で実施された。

これは5ヵ年計画で荒廃しつつある森を復活させようという作戦で、共催として(財)オイスカ・東京商工会議所がバックアップして行われた。25日午前9時の開会式の後、ハイキングコース脇への植樹、園内の檜林の除伐作業が森林組合指導員・地元林業者指導員の指導のもとに実行された。作業の参加者は公募で集まった市民と留学生で最初はおそるおそる、斧やなたを用いていたが次第に慣れてくると次々と伐採される15年生ぐらいいの木が倒れるたびに歓声をあげた。除伐の大切さを指導員の方から説明を受け、次第に明るくなる林の中で真剣な面持ちで作業を取り組んでいた。ハイキングコース脇の植樹も順調に進み、数年後には成長した樹木が見られると思う。B S八王子地区からはRS及び指導者50名がスタッフとして参加し、運営の一翼を担った。5ヵ年の継続事業なので次回以降も奉仕が期待されるところである。

